

平成24年11月定例会 請願文書表 文教厚生委員会

<教育委員会関係> 継続分

受理 番号	受 理 年月日	件 名 ・ 要 旨 (紹 介 議 員 氏 名)	提 出 者 住所 氏名
18	平成23 11.22	『徳島県立図書館の図書費増額について』 図書予算が、7年前までの1億円余から4分の1の3000万円への激減で県下市町村図書館の運営に機能不全を惹起しているため、県立図書館の図書予算を旧に復するよう配慮願いたい。 (竹内資浩 北島勝也 木南征美 檜本 孝 川端正義 岡 佑樹 岸本泰治 喜多宏思 笠井国利 岡本富治 児島 勝 丸若祐二 寺井正邇 藤田元治 藤田 豊 有持益生 杉本直樹 西沢貴朗 南 恒生 元木章生 嘉見博之 三木 亨 重清佳之 福山 守 岡田理絵 中山俊雄 来代正文 岩丸正史 森田正博 黒川征一 臼木春夫 庄野昌彦 松崎清治 黒崎 章 長池文武 古田美知代 扶川 敦 達田良子 長尾哲見 大西章英 森本尚樹)	徳島県読書振興 協議会 会長 山本 幸男 外7名
19	平成23 11.24	『県西部の県立高等学校への看護師課程の設置について』 県西部における、住民の保健・医療サービスの中核を担う看護職員の確保のため、県西部の県立高校に看護教育を行う5年間の一貫した課程を併設するよう配慮願いたい。 (檜本 孝 川端正義 丸若祐二 寺井正邇 藤田元治 藤田 豊 南 恒生 元木章生 三木 亨 来代正文 黒川征一)	社団法人三好市 医師会 会長 内田 伸昭 外1名
28の2	平成24 6.11	『ひとりひとりを大切にするゆきとどいた教育について』 子どもたちのひとりひとりが大切にされ、安心して学べるよう、次の事項について配慮願いたい。 ① 小学校1・2・3・4年生、中学校1年生に続き、小学校5年生、中学校2年生でも早急に35人学級を実現すること。 ② 就学援助の拡充や高校生に対する給付制の奨学金制度を創設すること。 ③ 小・中学校の給食費無償化を国にはたらきかけること。 ④ 定時制課程の募集目標数(定員)を増やすこと。 (古田美知代 扶川 敦 達田良子)	ゆきとどいた教育をめざす徳島 県連絡会 代表者 山本 正美 外1名 (1,138名の署名簿添付)

<教育委員会関係> 継続分

受理 番号	受 理 年月日	件 名 ・ 要 旨 (紹 介 議 員 氏 名)	提 出 者 住所 氏名
32	平成24 6. 18	『高校再編における校地の選定について』 阿南地域の高校再編計画における校地の選定については、地域の意向を反映し、新野高校の校地に統合するよう配慮願いたい。 (児島 勝)	徳島県立新野高等学校教育振興協議会 会長 多田 康文 外 1 名

平成24年11月定例会 請願文書表 文教厚生委員会

<教育委員会関係> 新規分

受理 番号	受 理 年月日	件 名 ・ 要 旨 (紹 介 議 員 氏 名)	提 出 者 住所 氏名
40	平成24 11. 20	『国の教育政策における財政的支援について』 国の教育政策における財政的支援に関し、次の事項を求める意見書を国に提出願いたい。 ① 人材確保法の趣旨を尊重し、優れた教職員を確保するために、教育専門職としてふさわしい給与・待遇改善を図ること。 ② 義務教育の機会均等と教育水準の維持向上のために、国が必要な財政的支援を行い、地域間の格差を生じさせないこと。 ③ 今日的な教育課題に対応するため、公立義務教育諸学校の標準法を改正し、教職員定数の改善を図ること。 (竹内資浩 岡本富治 杉本直樹 川端正義 岸本泰治 西沢貴朗 児島 勝 岡 佑樹 喜多宏思 笠井国利 樫本 孝 丸若祐二 寺井正邇 藤田元治 藤田 豊 有持益生 北島勝也 木南征美 南 恒生 元木章生 重清佳之 岡田理絵 三木 亨 中山俊雄 嘉見博之 来代正文 岩丸正史 森田正博 庄野昌彦 臼木春夫 黒崎 章 長池文武 松崎清治 黒川征一 古田美知代 扶川 敦 達田良子 長尾哲見 大西章英 森本尚樹)	徳島県教職員団体連合会 委員長 坂本 和生 外1名